



今日の表紙 湯西川温泉かまくら祭



今年で20周年を迎えた湯西川温泉かまくら祭が、1月26日(土)から始まりました。

メイン会場には、雪の滑り台や大きなかまくらが作られ、訪れた人たちはそりで滑ったり、かまくらの中でバーベキューや郷土料理を食べたりして、楽しんでいました。

友人7人で遊びに来た浅香慶祐さん(神奈川県)は「初めてかまくらの中でバーベキューをしました。が、寒い中で食べるからこそ温かい物がおいしいです」と話してくれました。

暗くなるとメインストリートではイルミネーションがとまり、沢口河川敷に作られた、たくさんのミニかまくらに明かりがともされ、会場は幻想的な雰囲気包まれました。

なお、このイベントは3月17日(日)まで、ミニかまくら点灯は期間中の土曜・日曜日に行われます。



鬼怒川温泉鬼まつり

2月2日(土)・3日(日)に、鬼怒川温泉駅前広場で鬼怒川温泉鬼まつりが開催されました。

祭りでは、旅館・ホテルの女将や赤鬼のキヌちゃん、青鬼のカワちゃんなどによる大方ラマキ大会や豪華賞品の当たる大抽選会、地元食材を使用した料理の大試食会などが行われ、多くの観光客でにぎわいました。



今市花市

2月11日(月・祝)、国道119号小倉町交差点より春日町交差点間を主会場に、花市が開催されました。

当日は、主催者発表で約3万5,000人の来場者があり、歩行者天国となった大通りは、あふれんばかりの人でにぎわいました。

会場には、だるまや熊手などの縁起物や露店商の人たちの威勢のいい掛け声が響き渡り、おもちゃや食べ物の露店前では子どもたちが目を輝かせて欲しいものを



買い求めていました。

また、イベント会場ではビッグバンドの演奏などが行われ、会場では縁起物を購入した出町さん(今市)は、「毎年来ていますが、今年は天気に恵まれて、本当に良かったです」と話してくれました。



しもつかれコンテスト

2月11日(月・祝)に、プラチナホームまいちで、全日本しもつかれコンテストが開催されました。

当日は約500人の人たちが、出品された30点のしもつかれを試食しました。

投票の結果、最優秀賞「第13代鉄人」の栄冠には、栃木市の小林サト子さんが輝きました。

グループで試食していた中村さん(宇都宮市)は、「それぞれに特徴があつて、とてもおいしいです」と話してくれました。

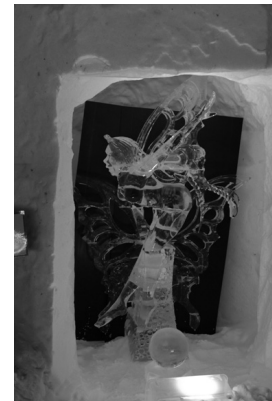


スノーファンタジア

1月19日(土)から作品の展示が始まった、スノーファンタジア・全日本氷彫刻奥日光大会。

有名ホテルの調理人や氷彫刻師などの手で、前日から夜通しで制作された氷彫刻を、さまざまな光の演出が施された会場で見ることができ、色とりどりにライトアップされました。

また、会場入口には「雪ほたる」も設置され、緑色の光が訪れる人を出迎えました。



冬の花火大会(湯元)

スノーファンタジアの展示が始まった1月19日(土)、湯ノ湖畔で、奥日光湯元温泉雪まつり・冬の花火大会(第1夜)が行われました。

江戸花火の「宗家花火鍵家」による花火が澄んだ冬の空を彩り、湖畔に集まった大勢の観客から大歓声が上がりました。

なお湯元での花火は、雪灯りの開催に合わせて、2月2・10・16日にも打ち上げられました。



雪灯り

奥日光湯元温泉で、2月1日(金)28日(木)の期間、冬のライトアップイベント、雪灯りが始まりました。

たくさんの明かりがともされた会場には、スカイツリーと今年の干支の蛇をモチーフにした巨大雪像が設置され、静けさの中に雪と光の世界が広がりました。

宇都宮市から来た大垣さん夫妻は、「道路状況が心配でしたけど、来て良かったです。とてもきれいですね」と話してくれました。



成人式

1月13日(日)、市内5地域で成人式が行われました。

足尾地域は、男性6名、女性5名、合計11名の元気な新成人たちが足尾公民館に集まりました。

記念式典では、新成人を代表して高田真智起さんと手島茜さんがそれぞれ、「足尾の外で暮らしてみ、改めて足尾の持つ豊かな自然を再確認した」「これまで育ててくれた両親に感謝し、地域の一人として責任を持って生きていきたい」とあいさつしました。

式典後には、タイムカプセルの開封や、体育館に場所を移して「足尾和太鼓チーム銅」による太鼓の演奏が行われ、会場に集まった新成人たちは、子どもの頃から慣れ親しんだ地域伝統の太鼓の音色に耳を傾けていました。

